



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

SDGs

農業分野においても、経済・社会・環境の諸課題に総合的に取り組み、環境に配慮した生産活動を積極的に推進するとともに、消費者の購買行動がこれを後押しする持続可能な消費を促進することが必要であることから、本県においても施策の推進により、SDGsの達成につなげていきます。

くらしを支えるかながわ農業

農業は、新鮮な野菜、牛乳や肉など食料の供給にとどまらず、良好な景観の形成、防災、県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全など、様々な働きを持っており、わたしたちが生きていくうえで欠くことができない大切なものです。

かながわ農業は、県民の身近で営まれる都市農業として、県民のくらしを支えています。

県民の食を支えています！

●品目別の生産量(令和2年)

野菜	237,868t	234万人分
米	14,200t	25万人分
果実	23,822t	51万人分
鶏卵	19,319t	96万人分
牛乳	30,251t	80万人分
豚肉	9,464t	46万人分



だいこん(三浦市)

※生産量は、農林水産統計年報



かながわブランド、かながわ産品の情報を
発信しています！

サイトをご覧になりたい方はこちらから
<https://kanasan-no-hatake.jp/>

かなさんの畑

検索



神奈川県環境農政局農水産部農政課
農業企画グループ

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

☎電話 045-210-4414 📠FAX 045-210-8851

●かながわ農業活性化指針掲載サイト

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/vw7/cnt/f6843/p21679.html>



令和5年3月改定



神奈川県

KANAGAWA

かながわ農業活性化指針

農業の活性化による地産地消の推進

—魅力ある農業を次世代につなぐ—

神奈川県では、温暖な気候や大消費地に近いという利点を生かして、野菜や果実のほか、牛乳、豚肉など生鮮食料を中心に多彩な農畜産物が生産され、県民に新鮮で安全・安心な食料が供給されています。

しかし、担い手の減少や高齢化、農業資材価格の高騰、荒廃農地の増加など、農業を取り巻く状況は依然として厳しい状況です。

こうしたことを踏まえ、本県農業の基本指針となる「かながわ農業活性化指針」をつくり、各種施策を展開することで、かながわ農業の活性化を図り、地産地消を推進していきます。



基本 目標

農業の活性化による地産地消の推進 —魅力ある農業を次世代につなぐ—

県民に県産農畜産物を安定的に供給し持続的に発展する農業を推進します。
また、「魅力ある農業」を次世代に引き継ぐため、経営感覚に優れた農業者を育成し、時代や環境の変化に柔軟に対応した安定的で生産性が高く、
県民が身近に感じることができる農業を推進します。

かながわ農業の 10年後の 目指す姿

- 農業者が意欲を持って安定的に生産を行い、優良農地の有効活用が図られ、次世代に引き継がれている。
- 県民に都市農業がより深く理解され、新鮮で安全・安心な県産農畜産物が選ばれて利用され、よろこばれている。
- 環境と調和した持続可能な農業が営まれ、農業の有する多面的機能が発揮されている。

施策の方向① 生産



農業基礎セミナーの開催



アシストスーツによる作業の負担軽減



ほ場の大区画化による生産効率の向上



県育成イチゴ品種「かなこまち」

生産性の向上と担い手の育成・確保 ～しっかりつくる、引き継ぐ～

県民へ安定的に県産農畜産物を供給するため、担い手の育成・確保や優良農地の確保と有効利用、スマート技術の導入等による生産性の向上、燃油、飼料等の価格高騰対策による経営の安定化等により、農業生産を維持し、かながわ農業の次世代への継承を目指します。

取組内容

- 多様な担い手の育成・確保及び経営発展段階に応じた支援
- 農畜産物の生産の拡大や産地の強化に向けた支援
- 新品種の育成や新技術の開発及び生産現場への普及
- 畜産経営の体質強化に向けた総合的な支援
- 農業生産基盤の整備と農地集積の促進及び農地の有効活用
- 災害等のリスク対策の取組強化

施策の方向③ 環境



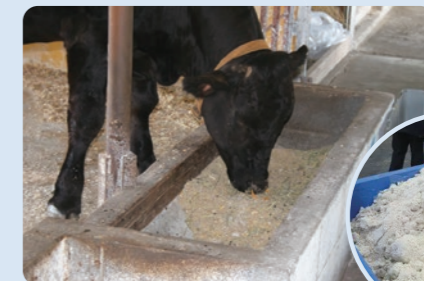
小学生向けの出前講座



県民と連携した樹園地の活用



赤色防虫ネットによる微小害虫の防除



エコフィードの利用



炊飯米

取組内容

- 環境に配慮した農業の推進
- 農地等の活用・保全
- 農業の有する多面的機能等への県民の理解促進
- 鳥獣被害対策の推進

環境に配慮した農業の推進と生産環境の保全 ～環境にやさしい、まもる～

農業の持続的な発展のため、「みどりの食料システム戦略」に対応した環境負荷低減技術の導入等による環境にやさしい農業生産の推進と、地域ぐるみの共同活動の支援や鳥獣被害対策など農業環境をまもる取組の推進により、環境と共存する農業を目指します。

施策の方向② 消費

新鮮で安全・安心な魅力ある農畜産物の利用拡大 ～県民にとどける、よろこばれる～

県産農畜産物の利用拡大を図るため、ブランド力の強化や情報発信による認知度の向上、流通・販売対策、安全対策の推進により、県民によりこばれる新鮮で安全・安心な魅力ある農畜産物の供給を目指します。



商談会の開催



豚熱ワクチンの接種

取組内容

- 農畜産物のブランド力の強化や付加価値向上の支援
- ニーズの変化等に対応した流通・販売対策の支援
- 農畜産物の安全・安心と食育の推進